



こんにちは

村田 けい子

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

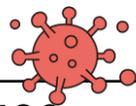
発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

6月
議会報告

2021.7月
№308
夏季号

6月議会より
村田の一般質問

一人親方などへも休業補償を！PCR検査実施を！ 住民への生活支援・事業所支援を急ぎ実施を！



《コロナ禍への対策充実を》

農業・職人など一人親方 ・フリーランスにも休業補償を！



昨年6月、全国の世論に押され、ようやく国保事業にもコロナ感染症に限り「傷病手当金・休業補償制度」が実現。コロナで4日以上休んだ日数分、給与の3分の2が1年6か月（18か月）を限度に支給されます。

(直近3か月の給与÷就労日数×療養日数・ただし4日目以降)

ところがこの制度は、被用者・いわゆる使用されて働く労働者が対象で（家族労働者も含む）、事業主やフリーランスなどは対象外となっています。国の制度の欠陥です。「同じ国保加入者でありながら、補償がないのは不公平ではないか。強力な変異株が流行する中、事業主にも備えるべきではないか」と要求。

予算もまずは科目設定なみの少額でも良いので、安心のために「ともかくも制度自体を用意すべき」と質問。



福祉・教育現場に PCR検査を！



コロナ感染症は”症状のない人が感染を拡げる”という厄介なもの。高齢者施設・児童館・小中学校などの現場で働く職員は「コロナに掛かってもらえない、うつしてもいけない」といつも神経をとがらせて働いています。少しでも安心して働けるよう、町としてPCR検査を実施すべきと質問。

町は「緊急事態宣言下となれば、社会的検査をすることとなる。高齢者施設などは民間事業所なので実施することはない。今はワクチン接種に全力尽くす」との立場です。

私は重ねて「事業所が実施する場合に半額補助などの制度を作るべき」「多くの子どもに接する仕事には優先して検査を頻回で。」と求めました。

第5波も迫る中、ワクチン接種と共に検査の実施拡充が必要です。

コロナ禍の町の経済対策、一律20万円、経営が落ち込んだ事業者も対象に。

コロナ感染症の収束が見込めない中、町は二度目の給付金事業を決めました。私は町の指定した業種（飲食、宿泊、交通、レンタル、娯楽業）だけでなく、「厳しい経営が続いている事業者も対象にすべき」と求めました。

町は「指定業種以外でも経営が著しく落ち込んでいる場合はその対象とすること」を明言。「令和1年度と比べ、2年度の確定申告で大きな落ち込み（約50%以上）があれば対象になる」と答えました。窓口は町産業振興課・商工会。ぜひご利用ください。

4月13日の臨時議会で予算が承認されたのに、事業実施が一向に見えず、「業者は追い込まれている。なぜ遅れているのか、急ぎ実施せよ」と迫りました。

町は遅れていることを認め、「6月中旬より募集する」とようやく始めることを明言。

また、町民向けの飲食などに使える商品券もようやく6月に入り郵送開始。現在使われ始め町内の飲食店などに喜ばれています。



雨上がり、ブドウの葉先に水滴が。朝日にキラキラきらめいています。根から吸い上げた水を葉先の隅々まで送り届ける。毛細血管とおなじです。生きています！

いのちの水

パチリ！旬！

オリンピックは中止し、コロナ封じ込めに全力を！ ワクチン接種と共に検査の拡充で感染拡大ストップ！

索道事業、総額2億6800万円超え 町負担は5372万円以上。今必要か？！



6月議会に右のような多数の降雪機とICゲートシステム導入が予算化、可決されました。村田は反対。その理由は

- ①観光庁の補助制度に採択されなかったのに計画はそのまま。(2分の1の補助が受けられず、町負担は倍に。)
- ②指定管理者の提案をそのままに予算化。町による精査ナシ。
- ③コロナ禍で歳入が減少し・スキー客も減っているときに必要か。
- ④競争入札が必要となるが、国内製造は指定管理者の親会社が独占。巨大ビジネスチャンスを提供。
- ⑤通常の発券機の更新は1,100万円。ICゲートシステムは4,700万円。広域でのスキーヤーの動向などの分析に役立てるといえるが、今、必要か。緊急性はない。

白樺高原の活性化なら、佐久平駅からの直通便の確保などが優先ではないか。さらに言えばPCR検査・一人親方などへの休業補償制度創設が先。優先順位が違う、と指摘し反対。



①国際スキー場と2in1スキー場に、最新式の降雪マシンを新たに固定式ファンタイプ14台、スティックタイプ33台を追加配置。(指定管理者からの提案のまま)

②最新機器大量導入で気温が高い状況(-0℃)でも雪を作りスキー場のオープン日を周辺より早くして、スキー客の誘客につなげる目的で計画された事業。

11/20オープンを目指す。(従来は12/10)

③合わせてICゲートシステム(4600万円)を導入し、スキーヤーの動向を把握分析し、周辺への誘客を一体的に進めるとして計画されたもの。

(Eight Peaks Resort 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業/7スキー場6事業者とが一体的に協力して誘客を目指す構想/観光庁の事業(補助率50%)に不採択。

* 辺地債・・・事業費を起債で手当てした時に、その80%が交付税として国から交付される制度。

町の公営企業時には、独立採算を基本とするので辺地債は利用できなかったとのこと。指定管理になったから利用できるとの事でさっそく適用。

中山道線 新ルート(蓼科高校～医療センター) 大人200円・子ども100円に。10月から。

千曲バス(株)は利用者減をうけ「中山道線」を9月末で廃止。新たに佐久市・立科町共同で「蓼科高校～岩村田高校～佐久医療センター」路線を千曲バスに運行委託することに。運賃は大人200円(これまで910円)。

高速バスや貸し切りバスなどの収入で赤字を補填してきた中山道線もコロナ禍の乗客減でとうとう廃止が打ち出され、町はその代替路線を模索してきました。

佐久市が市内循環デマンドバスが200円であることから、立科分も「200円の料金」が打ち出されました。

佐久市と立科町の運行距離や利用者数の平均から負担割合は68%対32%となり、「総経費-利用料」の費用をその割合で求めると 町負担は570万円(令和3年10月～令和4年3月まで)

蓼科高校や佐久市内の高校などへの通学通勤のため、朝夕のみの運行とする方向は決まりましたが、具体的なダイヤは未定。これまで白樺高原の子どものための小中高校への通学や、佐久市・上田市方面へのバス利用の通学費への補助制度を提案してきました、佐久市との共同により大幅な料金軽減が図られました。

しかし昼間は大幅に減便。その間はデマンドタクシー(電話で予約、玄関先から目的地まで)のような制度が必要です。求めていきましょう。



「どうなる？私たちの足」

—公共交通を考える 出前講座—

7月21日(水)13:30～立科町中央公民館

公共交通について、町職員から説明をしてもらい 佐久市・東御市からの報告を予定。公共交通について住民の声を聴いてもらうチャンスです。ぜひ、ご参加ください。車の送迎します。

☎090-9144-8534 村田まで

運賃不足分は町が負担を！

広域連合の補償は3年間

議員「不足分は町が補償を！」

町「検討する」

蓼科牛 どう守る？



●佐久広域連合補償

①牛一頭当たりの運搬費増額分

松本・中野1,100円

②補填はR3,4,5の3年間。10・8・6割と減少予定。

②諸経費高騰についての言及はなし。

今井健児議員の質問で

①松本の屠場への運搬費がこの4月より値上げされ1,980円になったこと。

②広域連合の補填は3年間で激変緩和措置であること。

③屠畜・解体費・冷蔵庫使用など諸経費が1頭当たり8千円も増額になっていることが明らかに。

「その詳細が不明なため、支援を断念した」(町長)との発言がありました。

議員は町の支援を求めました。

「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を 求める意見書

全会一致で挙がる！



コロナ対策で、最低でも机と机が1mの距離を保つ必要から、現在の35人学級でも手狭に。30人学級に向けた国の教育負担分も元の2分の1になるよう求める意見書です。

・低学年等に網戸設置予定・・・換気のために必要との位置づけから。ようやく実現しました。

・小学校の全校集会の代わりに、ライブで一斉放送できる設備更新費用が予算化。